

報道関係者各位

2016年3月23日

本資料は厚生労働記者会、文部科学記者会、農政クラブ、農林記者会にも投函しております

株式会社 毛髪クリニック リーブ21

ウーロン茶に男性ホルモン抑制作用 薄毛の原因「5α-リダクターゼ」を阻害し 育毛を促進する作用を確認

～2016年3月26日(土)～29日(火)日本薬学会第136年會にて発表～

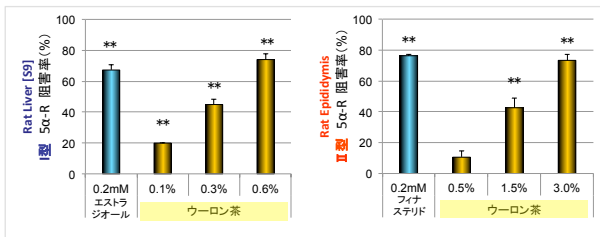
株式会社 毛髪クリニック リーブ21(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:岡村勝正、以下リーブ21)は2016年3月26日(土)～29日(火)に横浜市で開催される「日本薬学会第136年會」において、「抗男性ホルモン作用を介したウーロン茶エキスの育毛効果」を発表いたします。

茶の生理作用について様々な研究がなされており、育毛に関する発表も数多くあります。しかし、その多くが緑茶を対象としており、緑茶以外のお茶において育毛研究報告は数少ないのが現状です。そこで今回、緑茶と同じチャノキ(*Camellia Sinensis*)を起源に持ち、半発酵茶として知られるウーロン茶を研究対象とし、育毛作用に関する評価試験を行いました。その結果、ウーロン茶の含有成分には抗男性ホルモン作用を介した育毛効果が期待できることが示唆されました。今後は、活性成分を同定してウーロン茶エキスと男性ホルモンの因果関係を特定していく他、ウーロン茶エキスを配合した商品開発を進める予定です。

【結果】

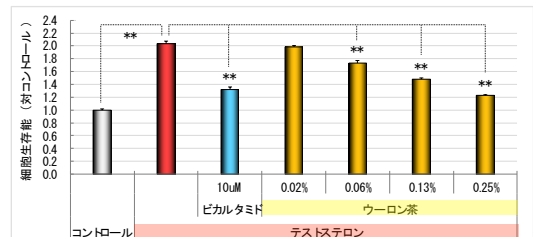
- ・ 薄毛の原因とされる男性ホルモンを活性化する酵素「5α-リダクターゼ I 型・II 型」の両方を阻害することを確認した
- ・ 男性ホルモン「テストステロン」で活性化するLNCaP細胞を用いた試験では、ウーロン茶エキスを添加することで細胞の増殖を有意に抑制することを確認した
- ・ マウス毛成長試験において、ウーロン茶エキスはテストステロン処置マウスの育毛を促進することを確認した

【5α-リダクターゼ阻害試験】



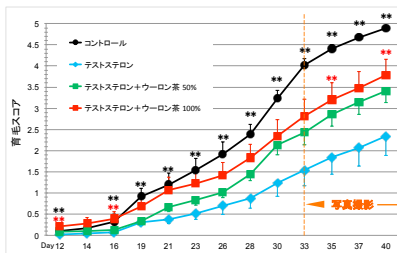
ラット肝ホモジネートとラット精巣上体ホモジネートを用いて、I型およびII型の5α-リダクターゼに対する阻害作用を確認。ウーロン茶エキスにエストラジオールやフィナステリドと同等の作用が確認された。

【LNCaP細胞の細胞生存能試験】



LNCaP細胞を使用し、テストステロン処置による細胞増殖への抑制作用を評価。ウーロン茶エキスにビカルタミドと同等の抑制作用が確認された。

【C57BL/6マウス毛成長試験】



ウーロン茶エキスはテストステロン処置したC57BL/6マウスの育毛を促進した。

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニック リーブ21 広報部 尾上

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-13 三義ビル 7階

TEL: 03-3510-1321 FAX: 03-3510-1311 Email: onoue@reve21.co.jp



創業40周年を迎えるにあたり、記念ロゴマークを制定しました。四ツ葉のクローバーの葉それぞれに、
発毛で“笑顔”を！発毛で“自信”を！発毛で“健康”を！発毛で“幸せ”を！
 という願いを込めています。